

キャベツなど40品目栽培

坂戸市 佐藤靖雄さん

移住就農5年、特別栽培認証も取得



【埼玉】坂戸市で就農して5年目の佐藤靖雄さん(45)＝写真＝は、1・5畝の畑でキャベツを中心にサトイモやネギなど年間約40品目を栽培し、近郊のスーパーの地

場産直野菜コーナーに出荷している。

県の特別栽培農産物認証を取得し栽培しているキャベツは10品種以上。炒めておいしい、千切りが柔らかい、蒸して甘い

など「品種ごとに特長があり、「お客さんにいろいろなキャベツを味わってほしい」と野菜作りの想いを話す。

宮城県出身の佐藤さんは、子どものころ伯父の農園で農業に接したことがきっかけで就農を決意。奥さんの応援もあり、県農業大学の基本技術コースで1年、いるま野明日の農業担い手塾で2年農業を学んだ。

「県外出身で非農家の自分が就農するのは不安もあったが、大学校時代の知り合いや担い手塾の関係者の紹介で農地などが確保できた」と佐藤さ

んは感謝する。「これからも多くの種類を作ってお客さんに届け、果樹にも挑戦したい。従業員を

雇用する準備も進め、中断していた収穫体験も再開したい」と6年目の想いを話す。